

第 31 卷 PDF 読本



京都丹後鉄道

天竜浜名湖鉄道

遠州鉄道

2024年10月16日 歩く鉄道作家 檜原 勉

<目次>

はじめに

第1章	京都丹後鉄道（西舞鶴～豊岡）	・ ・ ・ ・ 5
第2章	京都丹後鉄道（宮津～福知山）	・ ・ ・ ・ ・ 59
第3章	天竜浜名湖鉄道（掛川～西鹿島）	・ ・ ・ ・ ・ 109
	遠州鉄道（西鹿島～新浜松）	
第4章	天竜浜名湖鉄道（西鹿島～新所原）	・ ・ ・ ・ ・ 122

京都丹後鉄道：114.0 km

宮舞線（西舞鶴～宮津）：24.7km

宮豊線（宮津～豊岡）：58.9

宮福線（宮津～福知山）：30.4km

天竜浜名湖鉄道（掛川～新所原）：67.7 km

遠州鉄道（西鹿島～新浜松）：17.8 km

総営業キロ 199.5 k m

はじめに

本著書はデジタル形態のシリーズもので、「こだわり鉄道つたい歩き」よる PDF 読本旅日記の手記記録です。これまでの 5 巻（うち 2 巻は書籍）については、稚内から鹿児島までの日本縦断の旅について描いたもので、お陰様で執筆が完了しました。

引き続き、第 6 巻目からは、“日本横断歩き鉄の旅”について連載しています。第 26 弾目として、東海道本線、山陰本線などに接続する、京都府・兵庫県・静岡県を走る、京都丹後鉄道・天竜浜名湖鉄道・遠州鉄道の旅（総営業キロ 199.5 km）について執筆させて頂きました。

本作品はカッシー館にある榎原勉文庫拡充で閲覧可能です。また、国立国会図書館でご承認を得れば、通算 40 作目の著書として国立国会図書館でも閲覧できます。

（2014 年 8 月～2024 年 6 月で踏破）

こだわり鉄道つたい歩きとは、カッシー館でもご紹介している通り、九ヶ条から構成されます。

1. ウォークマンを聴きながら一人歩きを楽しむ
2. “鉄道案内人”に従って各駅を踏破する
3. メモや写真をとりながら筋書きのないドラマを楽しむ
4. 必殺仕事人の心境で歩く
5. 出発点は先憂後楽の考えに基づき決める
6. 歩く鉄道営業キロは季節を考慮して決める
7. 活動記録をとっている
8. 青春 18 きっぷを極力活用する
9. 東横インを極力活用する

<ご参考>

本著書に登場する駅舎は、“日本横断歩き鉄の旅“PDF 読本シリーズ中、カッシー館のブログに登場する「樫原勉文庫拡充」にて、次の PDF 読本からダイジェスト版でもご閲覧頂けます。

第16編（日本横断歩き鉄の旅）

第三セクター鉄道

天竜浜名湖鉄道（旧二俣線）・いすみ鉄道（旧木原線）・真岡鐵道（旧真岡線）
わたらせ渓谷鐵道（旧足尾線）・鹿島臨海鐵道（旧鹿島線）



天竜二俣駅

2021年5月5日 樫原 勉

第40編（日本横断歩き鉄の旅）

琴電・嵐電・叡電・江ノ電 遠州鉄道・豊橋鉄道



金刀比羅宮本宮

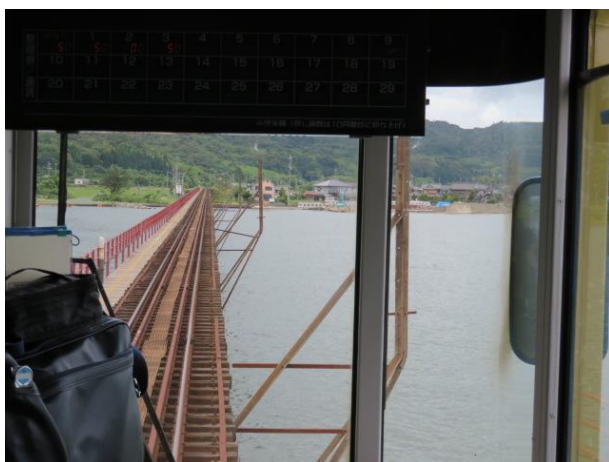
2022年10月22日 歩く鉄道作家 樫原 勉

第1章 京都丹後鉄道（西舞鶴～丹後神崎、

丹後由良～豊岡）

第1節 概要

2023年6月23日からの4泊5日の京都丹後鉄道(西舞鶴～豊岡:営業キロ83.6km)の旅、丹後神崎～丹後由良(1.7km)を除き、全駅舎立ち寄りに成功の下、有言実行となる。丹後神崎駅から丹後由良駅までは、勉強不足による想定外の由良川橋梁(552m)が前方に立ち塞がり、今回予定しない迂回(6km)を余儀なくされたためパスする。この区間は京都丹後鉄道の仕上げ旅(宮福線:宮津～福知山:30.4km)で対応予定。これで通算営業キロは、**1万4千803km(活動日数731日、日本の鉄道の53.4%、地球円周の37.0%)**となり、当面の目標の1万5千キロまで**197km**と迫る。



※遠くに由良川橋梁(東雲駅界限)

今回の旅は、第9回立命館数物同窓会(1073年卒、総勢10名参加)の後の歩きとなる。天気にも概ね恵まれ、営業努力を至る所で痛感する森林と海岸線を走る、風光明媚な京都丹後鉄道(宮舞線・宮豊線)を堪能する。今回の旅で特筆すべき点は下記の通り。

①各駅舎の顔は独特で素晴らしかった。



※丹後由良駅

②ウォシュレット付きのトイレ施設が大半の駅舎にあった。

③車両の色が様々であった。



※西舞鶴駅

④駅名に愛称がつけられていた。

駅名	愛称
京都丹後大宮	小町の郷
峰山	羽衣天女の里
網野	静御前と乙姫の里
夕日丘浦木津温泉	橘の里
小天橋	日間の松原
かぶと山	摩須朗女の里
久美浜	龍伝説の里

⑤コウノトリの郷駅手前の水田でラッキーにもコウノトリに遭遇できた。



⑥ホットで家庭的な”ふじい旅館”は最高であった。



※ふじい旅館(マスターとご一緒)

マスターから流木で作成した手作りのキーホルダーを頂く！！感謝感激！！



⑥旅先でカッシー館を PR できる機会を得る。



※豊岡駅界隈の居酒屋で(姫路方面からの旅人)

⑦昔の駅舎名が変わっていた。

野田川→与謝野、丹後大宮→京丹後大宮、木津温泉→夕日丘浦木津温泉、丹後神野→小天橋、甲山→かぶと山、但馬三江→コウノリの郷

⑧鉄道に沿った幹線道路が色々変わったので、注意深く歩くことを余儀なくなれた。

⑨宮舞線(西舞鶴～宮津)、宮豊線(宮津～天橋立～豊岡)は原則非電化であったが、宮津～天橋立の区間は電化車両にも対応できるようになっていた。

第2節 旅プラン

京都丹後鉄道の旅(西舞鶴～豊岡:営業キロ 81.9km)

○2023年6月23日(金)

ひかり507号 新横浜 10:21 → 京都 12:37

数物同窓会 16:30～

嵐山泊:花のいえ 075-861-1545



○6月24日(土)

はしだて3号(まいづる3号)京都 10:25 → 西舞鶴 11:55

西舞鶴 12:37 → 丹後由良 12:58

丹後由良～栗田～宮津(10.3 km)

宮津 16:12 → 豊岡 17:34

豊岡泊:ふじい旅館 0796-22-5027



○6月25日(日)

豊岡 6:17 → 宮津 7:37

宮津～天橋立～岩滝口～与謝野～京丹後大宮～峰山～網野(30.8 km)

網野 18:08 → 豊岡 18:47

豊岡泊

○6月26日(月)

豊岡 7:29 → 網野 8:09

網野～夕日ヶ浦木津温泉～小天橋～かぶと山～久美浜～コウノトリの郷～豊岡(28.1 km)

豊岡泊

○6月27日(火)

豊岡 7:29 → 丹後神崎 9:10

丹後神崎～東雲(しののめ)～四所～西舞鶴(12.7 km)

西舞鶴 13:30 → 綾部 13:54

きのさき16号 綾部 13:56 → 京都 15:06

ひかり658号 京都 16:33 → 新横浜 18:53

第3節 1日目:6月23日(金):観光&数物同窓会 晴れ

2023年6月23日(金)晴れ、京都に移動し、山陰本線にある梅小路京都西駅界隈にある京都鉄道博物館に立命館数物同窓会出席のメンバー(5名)で14時より1時間半位お邪魔する。クラシックな車両などを種々のアングルから鑑賞させて頂く。



※梅小路京都西駅

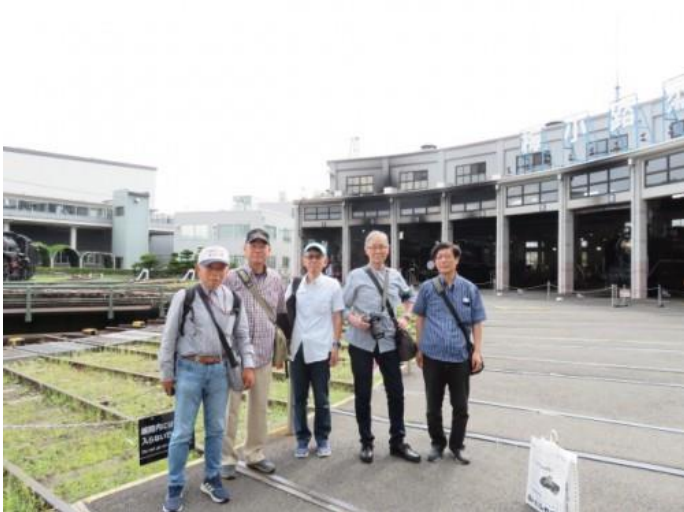




※雷鳥前



※昔の駅舎イメージ





※SL 列車の車両の足！！大きいのにビックリ



その後、嵐山にある“花のいえ”に移動し、17時半より2時間強、1年振りに数物同窓会(総勢10名)で楽しいひと時を過ごさせて頂く。また、引き続き宿泊のメンバーを中

心に2次会でも旧交を温める。楽しい第9回数物同窓会であった。この場をお借りし本日参加頂いた皆様に御礼申し上げますと共に感謝の気持ちで一杯となる。



※一次会



※二次会の模様(各自寄せ書き投稿)

第4節 2日目：6月24日（土）：丹後由良～宮津 晴れ

2023年6月24日（土）晴れ、京都丹後鉄道の旅の二日目、嵐山にある花のいえでゆっくり朝食をとり、9時頃チェックアウトする。京都駅まで戻り、京都発10時25分発のまいづる3号で西舞鶴駅まで移動。そこから京都丹後鉄道に乗り換えて丹後由良駅まで移動する。当初は丹後神崎駅であったが、由良川橋梁があったため、急遽この橋梁を列車で渡るコースとした。安寿と厨子王の縁の丹後由良駅には、12時58分到着。駅構内には土産屋と軽食のコーナーがあった。駅前を種々のアングルで撮影後、栗田駅を目指す。各駅舎立ち寄り時刻は次の通り。



※嵯峨嵐山駅、京都駅



※西舞鶴駅（JRと京都丹後鉄道）



※丹後由良駅までの道中

丹後由良(13:04)～栗田(14::55)～宮津(16::10)

①13時10分。安寿の里老人ホームがあった。13時17分、由良神社前で本日の安全を祈願。13時31分、岩穴稲荷から海岸線に沿った国道178号線を歩く。13時45分、安寿ロマン海道前で記念写真を撮る。14時37分、左手に線路が見える。14時39分、西舞鶴方面に向けて、列車(1両編成)が通過して行く。14時43分、豊守神社前を通過。栗田駅には14時55分到着。



※丹後由良駅



※岩穴稲荷、国道 178 号線に出る



※安寿ロマン海道





※栗田駅

②15時6分、住吉神社前通過。15時11分、国道178号線に合流する。15時23分、左手に単線非電化の線路を確認する。15時26分、全長588m(1044歩)ある栗田トンネル前に到達。15時58分、宮津市波路前を通過。宮津駅には16時10分到着。運よく、16時12分行の列車に間に合う。



※栗原トンネル、宮津駅への路



宮津駅

③懐かしい豊岡駅には17時34分到着。ここからふじい旅館の路、数人のお世話になり、やっと18時過ぎ到着。この旅館で今晚と明日の朝食は不要と申し上げる。ホテルの女将さんに今晚食事する場所を教えて頂く。汗を流した後、旅館から5分位先にある飲み屋街に向かう。土曜日でもあり、良さそうな食事処の2店は満席であった。やっと3軒目の店に入ることができる。先客の方が1名おられ、色々世間話をする機会を得る。そして、30分位経過して、3人組の姫路在住の旅人とも情報交換をする機会を得る。楽しいひと時であった。旅は出会いがあるから楽しい。記憶に残る一日となった。



※豊岡駅、ふじい旅館



※”まどか”で祝杯！！

第5節 3日目:6月25日(日):宮津～網野 晴れ

2023年6月25日(日)晴れ、京都丹後鉄道の旅の3日目は、宮津駅から網野駅までの30.8 kmに挑戦する。本日は豊岡駅6時17分発の始発のため、寝過ごさないよう、用心に用心して就寝する。3時過ぎに目が覚め、本日の歩きの準備をする。早起きだったため、列車内でうとうとする。列車は大半が森林の中を走り、昨日踏破した宮津駅に到着する。



※豊岡駅、異なる色の2両編成



※宮津駅

各駅舎到着時刻は次の通り。

宮津(7:41)～天橋立(8:43)～岩滝口(9:46)～与謝野(10:39)～京丹後大宮(12:58)～峰山(14:45)～網野(16:50)

①宮津駅から暫くは鉄道に沿った歩きとするため、結果的に海岸線の方とは反対の方向を歩こうとしていた。たまたま通行人の方に出会い、お伺いする機会を得る。「この路なりに歩いても天橋立には行けません。反対に戻り、海岸線を歩いて下さい」と教えて頂く。10分位のロスタイムで助かった。昨日歩いた道筋を經由し、国道178号線に合流する。7時56分より、万歩計で83歩ある新大手橋(大手川)を渡る。2020年1月、天橋立・城崎温泉を家内と旅行した際お邪魔した、懐かしい「天橋立荘」前を經由し天橋立駅には8時43分到着。



※天橋立駅への路



※3年前にお世話になったホテル、天橋立駅



※天橋立駅

②天橋立駅からは天橋立を鑑賞しながら、40分位、3年前の懐かしい旅の思い出(傘松公園からの風景など)を浮かべながら海岸線沿いを歩く。9時23分、国道178号線に合流する。9時31分、高速道路下を潜る。岩滝口駅には9時46分到着。



天橋立駅界限(電化した電柱あり)



※天橋立



※岩滝口駅への路



※岩滝口駅



※岩滝口駅

③岩滝口駅から暫く行った先で国道 178 号に合流するか、手前の路に進むか右往左往する。結局、後者を選択する。10 時 1 分、鳥山踏切を横切り鉄道の左側となる。暫く歩いた先で再度国道 178 号線に合流する。この境界で京都丹後鉄道は方向を大きく変えていた。少しパニックになり、近隣の人に与謝野駅への道筋を教えて頂く機会を得る。「石田橋を渡り、一番目の信号を左折し、野田川に沿って歩いた先にあります」と丁寧に教えて頂く。万歩計で 158 歩ある石田橋に沿って野田川橋梁があった。野田川を渡らず。国道 178 号線での歩きでは、与謝野駅への到着は難しくなっていた。胸を撫でおろす。10 時 12 分、石田大踏切を横切り、鉄道の右側となる。府道 2 号線(宮津養父線)を歩く。駅員がいる与謝野駅には 10 時 39 分到着。この駅舎には JR 西日本時代の駅に関する出来事などが駅構内に展示されていた。暫くこの駅舎に滞在し、展示物を鑑賞する。



※与謝野駅への路



※与謝野駅への路



※与謝野駅(旧丹後山田駅)



※与謝野駅構内(展示物で一杯)

④京丹後大宮駅への道筋も複雑であった。10時51分、山田踏切を横切り、鉄道の左側となる。暫く歩いた先で交差点があり、直進か右折するか右往左往する。暫く直進し、何となく変だと思い、ドライバーの方のお世話になる。「この路を進んでも京丹後大宮駅には行けません。100m位戻った交差点を左折して下さい」と教えて頂く。ここでも感謝の気持ちで一杯となる。国道312号線を歩く。11時28分、水戸谷川橋梁下を潜り、鉄道の右側となる。11時22分、路線バスと対面する。11時31分、与謝野町から京丹後市となる。11時36分、左手に京都丹後鉄道を確認でき安堵する。11時53分、51歩ある坂戸小橋(竹野川)を渡る。竹野川に沿って歩く。11時58分、豊岡39km、峰山10kmと記した道路標識前を通過。12時12分、79歩ある大宮新橋(竹野川)を渡る。そろそろ京丹後大宮駅だと思い、バイクに乗った方にお伺いする。親切にも私の近くまでお越し頂き、教えて頂く。「確かこの辺であったと思います。わざわざナビで確認の上、真っ直ぐ行った先の踏切を横切って暫く歩いた先にあります」と丁寧に教えて頂く。お礼を言って別れる。教えてもらった道筋を歩いた先に鯨踏切(12時52分)があった。この踏切を横切り、鉄道の左側となる。食事コーナーもある京丹後大宮駅には12時58分到着。駅舎は旧道に沿ってあった。



※鯨踏切への路





※京丹後駅(京都丹後市の中心か？沢山のバイク野郎が駅舎に集合)

⑤13時7分、口大野踏切を横切り鉄道の左側となる。13時10分、55歩ある竹野川を渡る。13時13分、京丹後市立大宮中学校前を通過。13時18分、国道312号線に合流する。この境界の通りには沢山の店があった。13時50分、故郷香川本店の丸亀製麺があった。13時56分、京丹後市合併前の大宮町から峰山町となる。14時18分、しんざん小学校前を通過。14時21分、1898歩ある荒山大橋を渡る。14時35分、新町踏切を横切り、鉄道の左側となる。峰山駅西口には14時45分到着。



※峰山駅への路



※峰山駅

⑥地図を確認し、14時51分、31歩ある小西川を渡る。地図を確認の上、安全な道筋を選択する。15時10分、府道17号線(網野峰山線)に合流する。合流するや否や網野への表示があり安堵する。15時18分、京丹後市立八山小学校前を通過。15時12分、松尾公園前を通過。15時45分、峰山町赤坂という地名を通過。15時47分、左手に西舞鶴行きの列車と対面する。15時56分、第一生野内踏切を横切り、鉄道の右側となる。16時12分、郷踏切を横切り鉄道の左側となる。16時18分、福田川(いわどめ橋)を渡る。16時21分、郷郵便局前を通過。近くに福田川橋梁がある網野街道を横切り、鉄道の右側となり、国道178号線に16時44分合流する。網野町下岡の地名があり。暫く歩いた先に網野駅(16時50分)があった。非情にも16時52分発の列車に乗り遅れ、18時8分発の列車まで待つことを余儀なくなれる。



※網野駅への路



※網野駅近し、特急車両



※網野駅



※特急車両と各駅停車車両

⑦待ち時間を利用し、近くのコンビニにアイスなどを購入しに行ったりして退屈な時間を過ごす。長い76分であった。ふじい旅館には19時過ぎ到着。汗を流した後、瓶ビールで祝杯をあげる。充実した一日であった。



※待ち時間を利用しコンビニまで、駅員のいた網野駅で豊岡まで乗車券購入



※豊岡駅、本日の夕食の一部